



電話機のセットアップ

- [電話機のハードウェアの設置 \(1 ページ\)](#)
- [電話機設定 \(29 ページ\)](#)

電話機のハードウェアの設置

電話を使用する前に、バッテリーを取り付けて充電する必要があります。バッテリーがすでに電話機に取り付けられている場合もありますが、そうでない場合は自分で取り付ける必要があります。

電話機を使用、設置、または充電する前に、[製品の安全性とセキュリティ](#)で安全情報を確認してください。

バッテリーは、サポートされている充電方式のいずれかを使用して、すでに充電されている場合があります。バッテリーが充電されていない場合は、電話機をセットアップする前にバッテリーを充電する必要があります。



注意 Cisco ワイヤレス IP 電話 8821 と Cisco ワイヤレス IP 電話 8821-EX は、バッテリーコンパートメントをロックするさまざまな方法を備えています。お使いの電話機に合った正しい手順を使用してください。

- Cisco ワイヤレス IP 電話 8821
 - [Cisco ワイヤレス IP 電話 8821 のバッテリーの取り付け \(2 ページ\)](#)
 - [Cisco ワイヤレス IP 電話 8821 のバッテリーの交換 \(11 ページ\)](#)
 - Cisco ワイヤレス IP 電話 8821-EX
 - [Cisco ワイヤレス IP 電話 8821-EX のバッテリーの取り付け \(7 ページ\)](#)
 - [Cisco ワイヤレス IP 電話 8821-EX のバッテリーの交換 \(17 ページ\)](#)
-

Cisco ワイヤレス IP 電話 8821 のバッテリーの取り付け

このタスクは、Cisco ワイヤレス IP 電話 8821 のみに使用します。Cisco ワイヤレス IP 電話 8821-EX については、[Cisco ワイヤレス IP 電話 8821-EX のバッテリーの取り付け \(7 ページ\)](#) を参照してください。

IP54 準拠とは、電話機が防塵および防水処理されていることを意味します。電話機は工場から出荷された時点で完全に保護されています。

バッテリー収納部を開く必要がある場合は、ほこりっぽいまたは湿気の多い環境では開かないでください。

バッテリーカバーが閉じられており、ほこりや水がバッテリー収納部に入り込まないことを確認する必要があります。



(注) ほこり、オイル、またはその他の生成物がバッテリー収納部のカバーのガスケットを傷つけることにより、密閉が損なわれる可能性があります。バッテリーを変更するたびに、ガスケットの破損を点検してください。ガスケットが破損した場合は、交換用のカバーを注文できます。



注意 器具を使用してふたを開けないでください。



注意 電話機の寿命と機能は、次の場合に損なわれる可能性があります。

- バッテリーが正しく取り付けられていない。
- バッテリーカバーが正しく閉じられていない。
- バッテリーカバーのゴム製ガスケットの手入れが不十分。
- バッテリーカバーのゴム製ガスケットが破損している。
- 電話機を硬い表面に繰り返し落下させた。

手順

ステップ 1 バッテリー収納部からカバーを取り外します。



- a) 留め金を左に押し、ホールドし、カバーを解放します。
- b) カバーの側面にあるタブを使用してカバーの上部を持ち上げ、カバーを持ち上げて下部タブを解除します。

ステップ2 バッテリーを取り付けます。

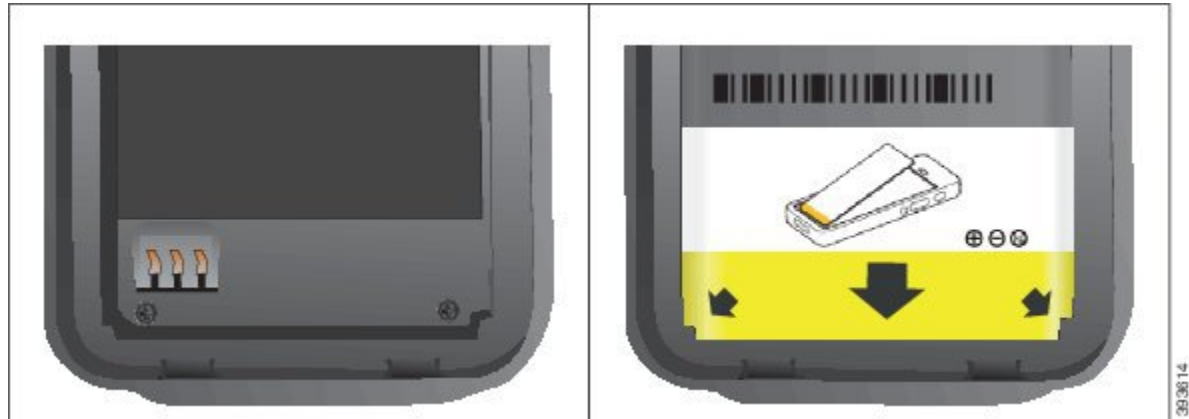
注意 バッテリーをバッテリー コンパートメントに正しく設置しないと、バッテリーとバッテリー コンパートメントが破損します。



バッテリーの金属接点をバッテリー コンパートメントの接点に接続する必要があります。バッテリーの下部には矢印が表示されており、上部には Cisco のロゴが表示されています。

バッテリーが正しく挿入されていれば、ロゴと矢印を視認できます。矢印は電話機下部のコネクタの方向を指し、ロゴはロックング キャッチの近くに位置します。

バッテリーコンパートメントの下部の角には小さなタブがあります。これらのタブの下にバッテリーを差し込む必要があります。次の図は、バッテリーが設置されていない場合と、バッテリーが正しくインストールされている場合のバッテリーコンパートメントを示しています。



- a) バッテリーの下端がコンパートメントの下部に近づくようにバッテリーを持ちます。電話機の金属接点とバッテリーが互いに向き合っていることを確認します。バッテリーの Cisco のロゴはロックングキャッチに近い位置になければならず、矢印は電話機の下部を指している必要があります。

注意 バッテリーをバッテリーコンパートメントに無理に挿入しないでください。コンパートメントとバッテリーが破損します。

- b) バッテリーコンパートメントの下部にあるタブの下にバッテリーの下部を差し込みます。
 c) バッテリーがコンパートメント内で固定されるまで、バッテリーをバッテリーコンパートメント部分に押し込みます。

次の図は、正しく設置されたバッテリーを示しています。



- d) バッテリーに薄いプラスチックのプルタブが付いている場合は、タブをバッテリーにかぶせます。

ステップ3 バッテリー収納部のカバーの内側のガスケットを点検し、必要に応じて、水を湿らせた布で清掃します。

注意 ガスケットにオイルまたはアルコールベースの洗浄剤を使用しないでください。このような洗浄剤は、ガスケットを傷つけ、電話機の保証が無効になる可能性があります。

ステップ4 バッテリー収納部にカバーを取り付けます。

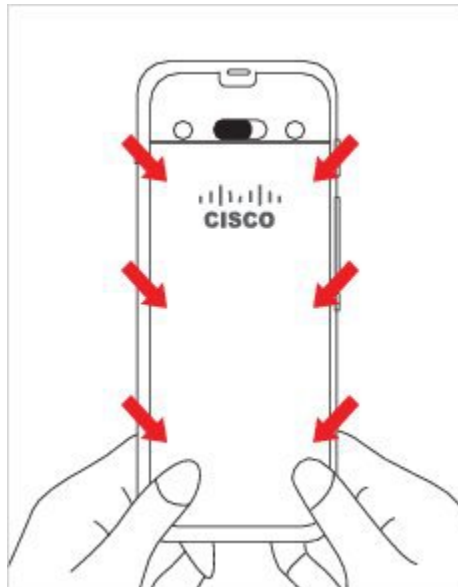


注意 バッテリーカバーを閉じたら、完全に閉じていることを確認します。そうでない場合は、ほこりや水がバッテリー収納部内に侵入する可能性があります。

- a) カバーの底にあるつまみと電話機のノッチを揃えます。
タブを電話機に差し込みます。



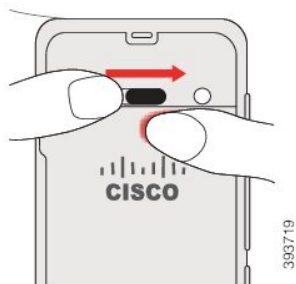
- b) カバーをカチッという音がするまで電話機にしっかり押し込みます。カバーの上部、中間部、下部を両側から押します。
カバーをしっかり押し込みます。



注意 カバーを無理に押し込まないでください。カバーが無理なくカチッと閉まらない場合、カバーを取り外してバッテリーが正しく挿入されているかどうか確認します。

- c) カバーが4つの側面のすべてに沿って電話機と同一面になっていることを確認してから、ロックを右にスライドさせてカバーを固定します。

(注) カバーが上に同一面になっていない場合は、ラッチと Cisco ロゴの間をカバーを押しします。



関連トピック

[損傷したバッテリーの識別](#) (24 ページ)

Cisco ワイヤレス IP 電話 8821-EX のバッテリーの取り付け

このタスクは、Cisco ワイヤレス IP 電話 8821-EX のみに使用します。Cisco ワイヤレス IP 電話 8821 については、[Cisco ワイヤレス IP 電話 8821 のバッテリーの取り付け](#) (2 ページ) を参照してください。

IP67 準拠とは、電話機が防塵および防水処理されていることを意味します。電話機は工場から出荷された時点で完全に保護されています。



注意 バッテリー収納部を開く必要がある場合は、ほこりっぽいまたは湿気の多い環境、危険な場所では開かないでください。

温度が 0°C 以下の場合は、バッテリー収納部を開かないようにします。

バッテリーカバーが閉じられており、ほこりや水がバッテリー収納部に入り込まないことを確認する必要があります。



(注) ほこり、オイル、またはその他の生成物がバッテリー収納部のカバーのガスケットを傷つけることにより、密閉が損なわれる可能性があります。バッテリーを変更するたびに、ガスケットの破損を点検してください。ガスケットが破損した場合は、交換用のカバーを注文できます。



注意 器具を使用してふたを開けないでください。



注意 電話機の寿命と機能は、次の場合に損なわれる可能性があります。

- バッテリーが正しく取り付けられていない。
- バッテリーカバーが正しく閉じられていない。
- バッテリーカバーのゴム製ガスケットの手入れが不十分。
- バッテリーカバーのゴム製ガスケットが破損している。
- 電話機を硬い表面に繰り返し落下させた。

手順

ステップ 1 バッテリーカバーのネジを外し、バッテリーコンパートメントからカバーを取り外します。



注意 バッテリー収納部の蓋のネジをゆるめたり、電話機から蓋を取り外したりするときに、先の尖ったものを使わないでください。

- a) コインを使用してネジを回し、バッテリー収納部のロックを外します。
ネジはカバーに置いたままになります。
- b) バッテリー収納部のカバーの角を指で持って取り外します。

ステップ 2 バッテリーを取り付けます。

注意 バッテリーをバッテリー コンパートメントに正しく設置しないと、バッテリーとバッテリー コンパートメントが破損します。



バッテリーの金属接点をバッテリー コンパートメントの接点に接続する必要があります。バッテリーの下部には矢印が表示されており、上部には Cisco のロゴが表示されています。

バッテリーが正しく挿入されていれば、ロゴと矢印を視認できます。矢印は電話機下部のコネクタの方向を指し、ロゴはロックキャッチの近くに位置します。

バッテリー コンパートメントの下部の角には小さなタブがあります。これらのタブの下にバッテリーを差し込む必要があります。次の図は、バッテリーが設置されていない場合と、バッテリーが正しくインストールされている場合のバッテリー コンパートメントを示しています。



a) バッテリーの下端がコンパートメントの下部に近づくようにバッテリーを持ちます。電話機の金属接点とバッテリーが互いに向き合っていることを確認します。バッテリーの Cisco のロゴ

はロックングキャッチに近い位置になければならず、矢印は電話機の下部を指している必要があります。

注意 バッテリーをバッテリーコンパートメントに無理に挿入しないでください。コンパートメントとバッテリーが破損します。

- b) バッテリーコンパートメントの下部にあるタブの下にバッテリーの下部を差し込みます。
- c) バッテリーをバッテリー収納部に押し込んで固定します。バッテリーがコンパートメント内で水平になっていることを確認します。
- d) バッテリーに薄いプラスチックのプルタブが付いている場合は、タブをバッテリーにかぶせませます。

ステップ 3 バッテリー収納部のカバーの内側のガスケットを点検し、必要に応じて、水を湿らせた布で清掃します。

注意 ガスケットにオイルまたはアルコールベースの洗浄剤を使用しないでください。このような洗浄剤は、ガスケットを傷つけ、電話機の保証が無効になる可能性があります。

ステップ 4 バッテリー収納部にカバーを取り付けます。



注意 バッテリーカバーを閉じたら、完全に閉じていることを確認します。そうでない場合は、ほこりや水がバッテリー収納部に侵入する可能性があります。

- a) カバーの底にあるつまみと電話機のノッチを揃えます。

タブを電話機に差し込みます。



- b) カバーをカチッという音がするまで電話機にしっかり押し込みます。
カバーの上部、中間部、下部を両側から押します。



注意 カバーを無理に押し込まないでください。カバーが無理なくカチッと閉まらない場合、カバーを取り外してバッテリーが正しく挿入されているかどうか確認します。

- c) カバーが電話機で同一平面になっていることを確認し、コインを使用してカバーを所定の場所にねじ込みます。ネジは安定している必要があります。ネジを締めすぎないようにしてください。



関連トピック

[損傷したバッテリーの識別](#) (24 ページ)

Cisco ワイヤレス IP 電話 8821 のバッテリーの交換

このタスクは、Cisco ワイヤレス IP 電話 8821 のみに使用します。Cisco ワイヤレス IP 電話 8821-EX については、[Cisco ワイヤレス IP 電話 8821-EX のバッテリーの交換](#) (17 ページ) を参照してください。

予備バッテリーがある場合、残量の低下したバッテリーを充電済みバッテリーに交換できます。

IP54 準拠とは、電話機が防塵および防水処理されていることを意味します。電話機は工場から出荷された時点で完全に保護されています。

バッテリー収納部を開く必要がある場合は、ほこりっぽいまたは湿気の多い環境では開かないでください。

バッテリーカバーが閉じられており、ほこりや水がバッテリー収納部に入り込まないことを確認する必要があります。



(注) ほこり、オイル、またはその他の生成物がバッテリー収納部のカバーのガスケットを傷つけることにより、密閉が損なわれる可能性があります。バッテリーを変更するたびに、ガスケットの破損を点検してください。ガスケットが破損した場合は、交換用のカバーを注文できます。



注意 ふたを開けたり、バッテリーを取り外すときに器具を使用しないでください。



注意 電話機の寿命と機能は、次の場合に損なわれる可能性があります。

- バッテリーが正しく取り付けられていない。
- バッテリーカバーが正しく閉じられていない。
- バッテリーカバーのゴム製ガスケットの手入れが不十分。
- バッテリーカバーのゴム製ガスケットが破損している。
- 電話機を硬い表面に繰り返し落下させた。



注意 バッテリーのライフサイクルの予想値は2年です。平均使用量に基づいて、これは約 500 回の充電に対応しています。バッテリーに印刷された日付を確認して、バッテリーの寿命を計算することができます。バッテリーの寿命が到来したときに、バッテリーを交換することを推奨します。

手順

ステップ 1 バッテリー収納部からカバーを取り外します。



- a) 留め金を左に押し、ホールドし、カバーを解放します。
- b) カバーの側面にあるタブを使用してカバーの上部を持ち上げ、カバーを持ち上げて下部タブを解除します。

ステップ 2 以下のいずれかの操作を行います。

- バッテリーにプルタブがある場合は、電話機からタブを取り外します。
- バッテリーにプルタブがない場合は、画面を手のひらに向けて、片手で電話機を持ちます。電話機の裏側に他方の手を添えます。電話機を振って、バッテリーが手の中に落ちるようにします。



ステップ 3 バッテリーを取り付けます。

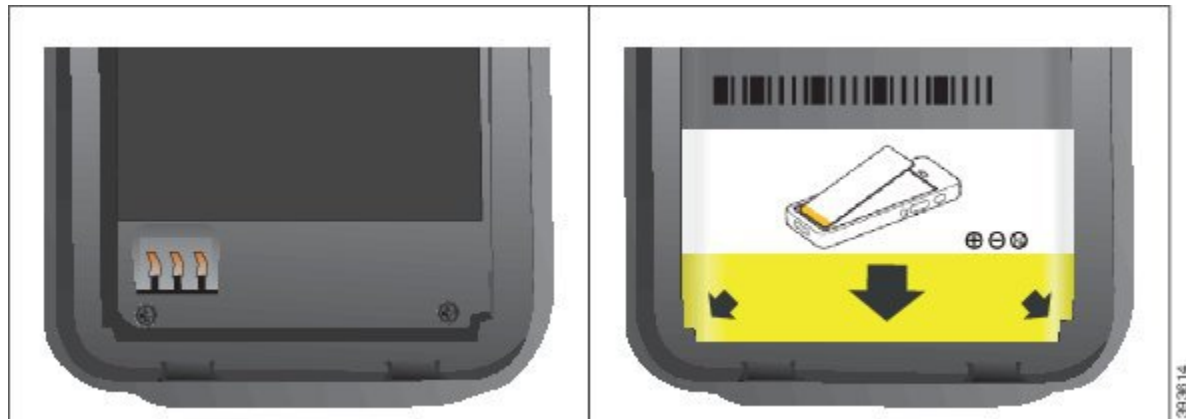
- 注意** バッテリーをバッテリー コンパートメントに正しく設置しないと、バッテリーとバッテリー コンパートメントが破損します。



バッテリーの金属接点をバッテリー コンパートメントの接点に接続する必要があります。バッテリーの下部には矢印が表示されており、上部には Cisco のロゴが表示されています。

バッテリーが正しく挿入されていれば、ロゴと矢印を視認できます。矢印は電話機下部のコネクタの方向を指し、ロゴはロックング キャッチの近くに位置します。

バッテリー コンパートメントの下部の角には小さなタブがあります。これらのタブの下にバッテリーを差し込む必要があります。次の図は、バッテリーが設置されていない場合と、バッテリーが正しくインストールされている場合のバッテリー コンパートメントを示しています。



- a) バッテリーの下端がコンパートメントの下部に近づくようにバッテリーを持ちます。電話機の金属接点とバッテリーが互いに向き合っていることを確認します。バッテリーの Cisco のロゴはロックング キャッチに近い位置になければならず、矢印は電話機の下部を指している必要があります。

注意 バッテリーをバッテリー コンパートメントに無理に挿入しないでください。コンパートメントとバッテリーが破損します。

- b) バッテリー コンパートメントの下部にあるタブの下にバッテリーの下部を差し込みます。
- c) バッテリーがコンパートメント内で固定されるまで、バッテリーをバッテリーコンパートメント部分に押し込みます。

次の図は、正しく設置されたバッテリーを示しています。

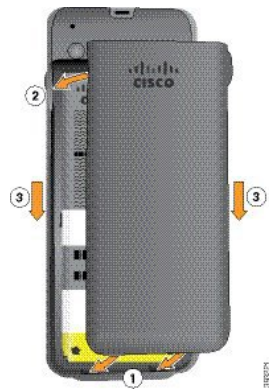


- d) バッテリーに薄いプラスチックのプルタブが付いている場合は、タブをバッテリーにかぶせま

ステップ 4 バッテリー収納部のカバーの内側のガスケットを点検し、必要に応じて、水を湿らせた布で清掃します。

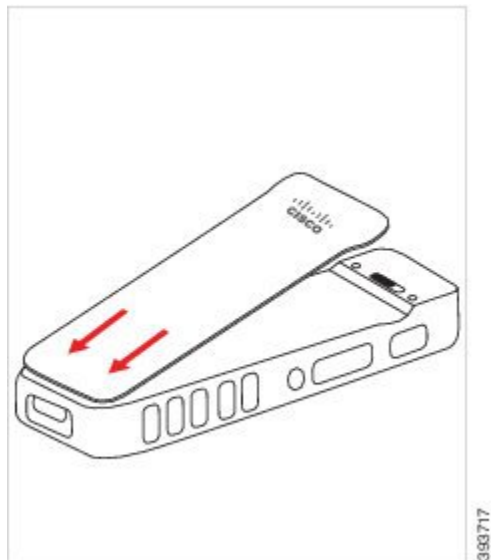
注意 ガスケットにオイルまたはアルコールベースの洗浄剤を使用しないでください。このような洗浄剤は、ガスケットを傷つけ、電話機の保証が無効になる可能性があります。

ステップ 5 バッテリー収納部にカバーを取り付けます。

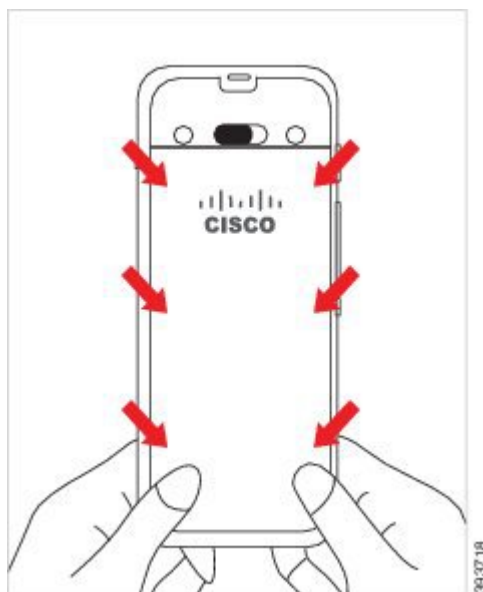


注意 バッテリー カバーを閉じたら、完全に閉じていることを確認します。そうでない場合は、ほこりや水がバッテリー収納部内に侵入する可能性があります。

- a) カバーの底にあるつまみと電話機のノッチを揃えます。
タブを電話機に差し込みます。



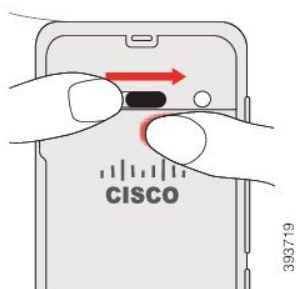
- b) カバーをカチッという音がするまで電話機にしっかり押し込みます。カバーの上部、中間部、下部を両側から押します。
カバーをしっかり押し込みます。



注意 カバーを無理に押し込まないでください。カバーが無理なくカチッと閉まらない場合、カバーを取り外してバッテリーが正しく挿入されているかどうか確認します。

- c) カバーが4つの側面のすべてに沿って電話機と同一面になっていることを確認してから、ロックを右にスライドさせてカバーを固定します。

(注) カバーが上に同一面になっていない場合は、ラッチと Cisco ロゴの間をカバーを押しします。



関連トピック

[損傷したバッテリーの識別](#) (24 ページ)

Cisco ワイヤレス IP 電話 8821-EX のバッテリーの交換

このタスクは、Cisco ワイヤレス IP 電話 8821-EX のみに使用します。Cisco ワイヤレス IP 電話 8821 については、[Cisco ワイヤレス IP 電話 8821 のバッテリーの交換](#) (11 ページ) を参照してください。

予備バッテリーがある場合、残量の低下したバッテリーを充電済みバッテリーに交換できます。

IP67 準拠とは、電話機が防塵および防水処理されていることを意味します。電話機は工場から出荷された時点で完全に保護されています。



注意 バッテリー収納部を開く必要がある場合は、ほこりっぽいまたは湿気の多い環境、危険な場所では開かないでください。

温度が 0°C 以下の場合は、バッテリー収納部を開かないようにします。

バッテリーカバーが閉じられており、ほこりや水がバッテリー収納部に入り込まないことを確認する必要があります。



(注) ほこり、オイル、またはその他の生成物がバッテリー収納部のカバーのガスケットを傷つけることにより、密閉が損なわれる可能性があります。バッテリーを変更するたびに、ガスケットの破損を点検してください。ガスケットが破損した場合は、交換用のカバーを注文できます。



注意 ふたを開けたり、バッテリーを取り外すときに器具を使用しないでください。



注意 電話機の寿命と機能は、次の場合に損なわれる可能性があります。

- バッテリーが正しく取り付けられていない。
- バッテリーカバーが正しく閉じられていない。
- バッテリーカバーのゴム製ガスケットの手入れが不十分。
- バッテリーカバーのゴム製ガスケットが破損している。
- 電話機を硬い表面に繰り返し落下させた。



注意 バッテリーのライフサイクルの予想値は2年です。平均使用量に基づいて、これは約 500 回の充電に対応しています。バッテリーに印刷された日付を確認して、バッテリーの寿命を計算することができます。バッテリーの寿命が到来したときに、バッテリーを交換することを推奨します。

手順

ステップ 1 バッテリーカバーのネジを外し、バッテリーコンパートメントからカバーを取り外します。



注意 バッテリー収納部の蓋のネジをゆるめたり、電話機から蓋を取り外したりするときに、先の尖ったものを使わないでください。

- a) コインを使用してネジを回し、バッテリー収納部のロックを外します。
ネジはカバーに置いたままになります。
- b) バッテリー収納部のカバーの角を指で持って取り外します。

ステップ 2 以下のいずれかの操作を行います。

- バッテリーにプルタブがある場合は、電話機からタブを取り外します。
- バッテリーにプルタブがない場合は、画面を手のひらに向けて、片手で電話機を持ちます。電話機の裏側に他方の手を添えます。電話機を振って、バッテリーが手の中に落ちるようにします。



ステップ3 バッテリーを取り付けます。

注意 バッテリーをバッテリー コンパートメントに正しく設置しないと、バッテリーとバッテリー コンパートメントが破損します。



バッテリーの金属接点をバッテリー コンパートメントの接点に接続する必要があります。バッテリーの下部には矢印が表示されており、上部には Cisco のロゴが表示されています。

バッテリーが正しく挿入されていれば、ロゴと矢印を視認できます。矢印は電話機下部のコネクタの方向を指し、ロゴはロックング キャッチの近くに位置します。

バッテリー コンパートメントの下部の角には小さなタブがあります。これらのタブの下にバッテリーを差し込む必要があります。次の図は、バッテリーが設置されていない場合と、バッテリーが正しくインストールされている場合のバッテリー コンパートメントを示しています。



- a) バッテリーの下端がコンパートメントの下部に近づくようにバッテリーを持ちます。電話機の金属接点とバッテリーが互いに向き合っていることを確認します。バッテリーの Cisco のロゴはロックング キャッチに近い位置になければならず、矢印は電話機の下部を指している必要があります。

注意 バッテリーをバッテリー コンパートメントに無理に挿入しないでください。コンパートメントとバッテリーが破損します。

- b) バッテリー コンパートメントの下部にあるタブの下にバッテリーの下部を差し込みます。
 c) バッテリーがコンパートメント内で固定されるまで、バッテリーをバッテリー コンパートメント部分に押し込みます。
 d) バッテリーに薄いプラスチックのプルタブが付いている場合は、タブをバッテリーにかぶせません。

ステップ 4 バッテリー収納部のカバーの内側のガスケットを点検し、必要に応じて、水を湿らせた布で清掃します。

注意 ガスケットにオイルまたはアルコールベースの洗浄剤を使用しないでください。このような洗浄剤は、ガスケットを傷つけ、電話機の保証が無効になる可能性があります。

ステップ 5 バッテリー収納部にカバーを取り付けます。



注意 バッテリー カバーを閉じたら、完全に閉じていることを確認します。そうでない場合は、ほこりや水がバッテリー収納部内に侵入する可能性があります。

- a) カバーの底にあるつまみと電話機のノッチを揃えます。
タブを電話機に差し込みます。



- b) カバーをカチッという音がするまで電話機にしっかり押し込みます。
カバーの上部、中間部、下部を両側から押します。



注意 カバーを無理に押し込まないでください。カバーが無理なくカチッと閉まらない場合、カバーを取り外してバッテリーが正しく挿入されているかどうか確認します。

- c) カバーが電話機と一体になっていることを確認してから、コインを使ってカバーを取り付けます。



ステップ 6 バッテリー収納部にカバーを取り付けます。



注意 バッテリー カバーを閉じたら、完全に閉じていることを確認します。そうでない場合は、ほこりや水がバッテリー収納部内に侵入する可能性があります。

- a) カバーの底にあるつまみと電話機のノッチを揃えます。
タブを電話機に差し込みます。



- b) カバーをカチッという音がするまで電話機にしっかり押し込みます。
カバーの上部、中間部、下部を両側から押します。



注意 カバーを無理に押し込まないでください。カバーが無理なくカチッと閉まらない場合、カバーを取り外してバッテリーが正しく挿入されているかどうか確認します。

- c) カバーが電話機で同一平面になっていることを確認し、コインを使用してカバーを所定の場所にねじ込みます。ネジは安定している必要があります。ネジを締めすぎないようにしてください。



関連トピック

[損傷したバッテリーの識別 \(24 ページ\)](#)

損傷したバッテリーの識別

電話機のバッテリーには、損傷の物理的兆候があります。物理的兆候は次のとおりです。

- 膨張
- 曲げ
- 破損した後端キャップ



-
- (注) バッテリーを交換したときに、バッテリーとバッテリー収納部を確認して、損傷の物理的兆候がないか確認することを推奨します。
-

膨張したバッテリー

ID

- バッテリーがテーブルに平らに置けない。角に触れると、動く場合があります。
- 取り付けたバッテリーがバッテリー収納部で平らにならない。
- 背面のふたが完全に閉じない (特にふたの中央)
- バッテリーを取り外そうとしてもバッテリー収納部から外せない。その場合は、バッテリーを収納部から取り外す必要があるかもしれません。



注意 バッテリーを収納部から外さないでください。

例

次の画像は、後端から見た膨張したバッテリーです。



次の画像は、別の膨張したバッテリーです。



次の画像は、バッテリー収納部に入った状態の膨張したバッテリーです。バッテリーが収納部の壁面との境界でぴったり重なっていないように注意してください。



次の画像は、ふたを取り付けた状態の膨張したバッテリーを示しています。ふたの中央がアーチ状になっていないか注意してください。ふたの中央にあるキャッチは、簡単には取り付けできません。



バッテリーは縦または横に膨張すると、取り外しが困難になります。バッテリーを取り外す際、器具は使用しないでください。

曲がったバッテリー

ID

バッテリーがテーブルに平らに置けない。角に触れると、動く場合があります。

例



後端キャップが破損または損傷している

ID

バッテリーの端にあるプラスチックキャップが正しく取り付けられていない。

例



電話機のバッテリーの充電

次のいずれかのオプションを使用してバッテリーを充電することができます。

- USB ケーブル：AC 電源アダプタまたはコンピュータを使用して電話機を充電することができます。
- デスクトップチャージャー：電話機を使用しながら充電することができます。
- マルチチャージャー：複数の電話機を同時に充電することができます。



警告 爆発の危険：爆発の可能性がある環境では電話機のバッテリーを充電しないでください。ステートメント 431

AC 電源アダプタ、デスクトップチャージャー、またはマルチチャージャーを使用したバッテリーの充電には約3時間かかります。USB ケーブルとコンピュータを使用した充電には約6時間かかります。

関連トピック

- [マルチチャージャ](#)
- [デスクトップチャージャ](#)

予備のバッテリーの充電

より長い通話時間が必要な場合は、予備の充電済みのバッテリーがあると便利です。予備のバッテリーはデスクトップチャージャーまたはマルチチャージャーで充電できます。



警告 爆発の危険：爆発の可能性がある環境では予備のバッテリーを充電しないでください。ステートメント 431

デスクトップチャージャーまたはマルチチャージャーでの予備のバッテリーの充電には約3時間かかります。

関連トピック

- [マルチチャージャ](#)
- [デスクトップチャージャ](#)

電源アダプタの準備

電話機の電源アダプタはコンパクトです。電源アダプタを使用する前に、プラグを開く必要があります。アダプタを使用した後に、プラグを閉じることができます。

お住まいの地域によっては、電源アダプタを電源コンセントに差し込むための追加のクリップが必要な場合があります。

手順

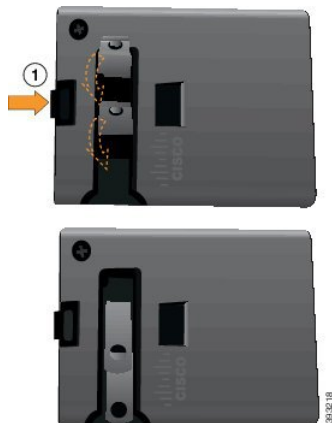
ステップ1 プラグの先端を指でつまんで、プラグを引き上げて固定します。



ステップ2 (任意) インターナショナル電源クリップを取り付けます。

ステップ3 (任意) アダプタを閉じる前に、インターナショナル電源クリップを取り外します。

ステップ4 (任意) アダプタ上のレバーを下ろして、プラグを押し下げ、アダプタを閉じます。



AC 電源を使用したバッテリーの充電

AC 電源を使用して電話機を充電することができます。電源を使用して電話機を充電する場合は、バッテリーがフル充電するまでに最大で3時間かかります。

USB ケーブルの広い方のコネクタを電話機に接続し、磁石を使ってしっかり固定します。コネクタのピンを正しく揃える必要があります。画面を自分に向けて電話機を持つと、コネクタ上のバッテリーアイコンが確認できます。



注意 危険な環境では電話機を充電しないでください。
電話機が濡れている状態で充電しないでください。

始める前に

電話機に付属の USB 電源ケーブルが必要です。

[電源アダプタの準備 \(27 ページ\)](#) の説明に従って、使用する電源アダプタを準備する必要があります。

手順

- ステップ1 USB ケーブルをピンを揃えて電話機の下部に差し込みます。
- ステップ2 USB ケーブルを電源アダプタに差し込みます。
- ステップ3 電源アダプタを電源コンセントに差し込みます。

USB ケーブルとコンピュータの USB ポートを使用したバッテリーの充電

コンピュータを使用して電話機を充電することができます。コンピュータを使用して電話を充電する場合は、バッテリーがフル充電するまでに最大で6時間かかります。

USBケーブルの広い方のコネクタを電話機に接続し、磁石を使ってしっかり固定します。コネクタのピンを正しく揃える必要があります。画面を自分に向けて電話機を持つと、コネクタ上のバッテリーアイコンが確認できます。



注意 危険な環境では電話機を充電しないでください。
電話機が濡れている状態で充電しないでください。

手順

- ステップ 1** USBケーブルの長い方のコネクタを、ピンを合わせた状態で電話機の下部に接続します。
- ステップ 2** もう一方の端をコンピュータのUSBポートに差し込みます。

電話機設定

電話の設定は、次のいずれかの方法で行います。

- 管理者が電話機をセットアップします。この場合は、ユーザが設定を行う必要はありません。管理者がユーザの設定メニューへのアクセスをロックする場合があります。

- ユーザが電話機に Wi-Fi ネットワークのためのセットアップをして、コール制御システムに接続します。この場合は、電話機に入力する必要がある情報を管理者がユーザに提供します。

Wi-Fi ネットワークへの電話機の追加

IP アドレスを入力する場合は、そのフィールドにスクロールし、[Select] を押します。フィールドが入力ボックスに変化します。キーパッドを使用して数字を入力し、ナビゲーションリングを使用してフィールド間を移動します。



電話機を設定して変更を保存したら、電話機が Cisco Unified Communications Manager に接続します。接続が確立されたら、電話機が設定ファイルをダウンロードし、必要に応じて、ファームウェアを新しいファームウェア ロードにアップグレードします。

始める前に

Wi-Fi ネットワークに関する次の情報が必要です。

- SSID
- セキュリティ タイプ (WEP や EAP など)
- 選択したセキュリティ タイプの PIN またはパスキー

手順

-
- ステップ 1** [設定 (Settings)] アプリにアクセスします。
- ステップ 2** [Wi-Fi] を選択します。
- ステップ 3** プロファイルを選択します。
- ステップ 4** (任意) プロファイル名を設定します。
- a) [Profile name] を選択します。
 - b) キーパッドを使用して新しい名前を入力します。
 - [Back]  ソフトキーを押すと、カーソルの左側にある文字が削除されます。
 - ナビゲーション リングを使用してフィールド内を左から右に移動します。
 - c) [次へ (More)]  を押し、[保存 (Save)] を選択します。
- ステップ 5** [Network configuration] > [IPv4 setup] を選択します。
- ネットワークが DHCP をサポートしていない場合は、次の手順を実行します。
- a) 必須: [DHCP] を選択し、[Off] を押します。
 - b) [IP address] を選択し、電話機に割り当てられたアドレスを入力します。
 - c) [Subnet mask] を選択し、必要なサブネットマスクを入力します。たとえば、255.255.255.0 と指定します。

- d) [Default router]を選択し、デフォルト ルータの IP アドレスを入力します。
- e) [DNS server 1]を選択し、DNS サーバの IP アドレスを入力します。

すべてのネットワークに対して、

- a) [Alternate TFTP] を選択し、[On] に設定します。
- b) [TFTP Server 1] を選択し、Cisco Unified Communications Manager の TFTP IP アドレスを入力します。
- c) [次へ (More)] を押し、[保存 (Save)] を選択します。
- d) [Trust list] ウィンドウで、[More] を押して、[Erase] を選択します。
- e) [Back] を選択してから、もう一度 [Back] を選択します。

ステップ 6 [WLAN Configuration] を選択します。

ステップ 7 [SSID] を選択します。

- a) キーパッドを使用してアクセス ポイントの SSID を入力します。
- b) [次へ (More)] を押し、[保存 (Save)] を選択します。

ステップ 8 [Security mode] を選択します。

ステップ 9 アクセス ポイントに必要なセキュリティのタイプを選択します。

ステップ 10 次の表を使用して必要なセキュリティ フィールドを設定します。

セキュリティ モード	設定対象フィールド	説明
なし	なし	[Security Mode] が [None] に設定されている場合は、他のどのフィールドも必要ありません。
WEP	WEP キー	40/104 または 64/128 の ASCII または 16 進数の WEP キーを入力します。
PSK	[パスフレーズ (Passphrase)]	8 ~ 63 文字の ASCII または 64 文字の 16 進数パスフレーズを入力します。
[EAP-FAST] PEAP-GTC PEAP-MSCHAPV2	ユーザ ID (User ID)	ユーザ ID を入力します。
	パスワード	パスワードを入力します。
EAP-TLS	ユーザ証明書	管理者が、選択すべき証明書タイプを提示し、電話機にインストールする証明書を準備します。


ステップ 11 [802.11 mode] を選択し、必要なモードを選択します。

モードによって、周波数が決定されます。モードを [Auto] に設定した場合は、電話機が 5 GHz と 2.4 GHz のどちらかの周波数を使用できます。5 GHz が推奨されている周波数です。

ステップ 12 [On call power save] を選択し、[Select] を押して設定を変更します。

このフィールドは、トラブルシューティングに必要な場合にのみ、[Disabled] に設定する必要があります。

ステップ 13 [次へ (More)] を押し、[保存 (Save)] を選択します。

ステップ 14 [応答/送信 (Answer/Send)]  を押します。
